

イーストスプリング・
タイ株式オープン

追加型投信／海外／株式

受益者のみなさまへ

平素は格別のお引立てにあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、主にタイの企業の株式等を投資対象とする投資信託証券に投資を行い、信託財産の成長を目指して運用を行います。当作成対象期間につきましてもこれに沿った運用を行ってまいりました。ここに、その運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜われますよう、お願い申し上げます。

作成対象期間 2017年12月12日～2018年6月11日

第10期 2018年6月11日決算

日経新聞掲載名:タイ株

第10期末	基準価額	10,971円
	純資産総額	450百万円
第10期	騰落率	2.7%
	分配金合計	200円

(注)騰落率は分配金再投資基準価額の騰落率で表示しています。

イーストスプリング・インベストメンツ株式会社

〒100-6905

東京都千代田区丸の内2-6-1丸の内パークビルディング

<http://www.eastspring.co.jp/>

【お問い合わせ先】

電話番号：03-5224-3400

(受付時間は営業日の午前9時から午後5時まで)

当ファンドは、信託約款において運用報告書(全体版)を電磁的方法によりご提供することを定めております。運用報告書(全体版)は、下記の手順で閲覧、ダウンロードすることができます。なお、書面をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

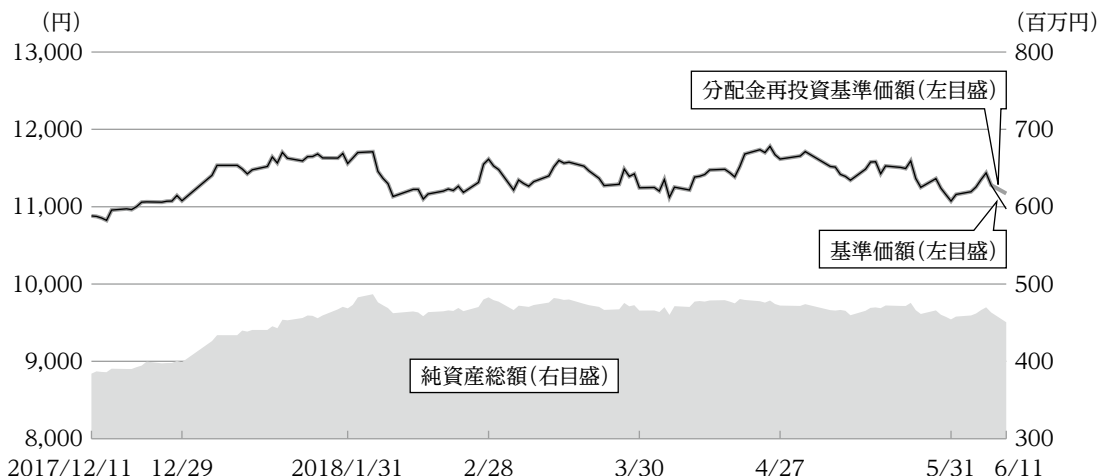
<運用報告書(全体版)の閲覧・ダウンロード方法>

ホームページにアクセス⇒「運用状況」のタブを選択⇒当ファンドの「運用報告書(全体版)」を選択

運用経過

基準価額等の推移について

(2017年12月12日～2018年6月11日)



第10期首	10,881円
第10期末	10,971円 (既払分配金200円)
騰落率	2.7% (分配金再投資ベース)

(注1) 分配金再投資基準価額は、収益分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注2) 分配金を再投資するかどうかについては、お客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様1人ひとりの損益の状況を示すものではありません。

(注3) 分配金再投資基準価額は、期首の値が基準価額と同一になるように指数化しております。

基準価額の主な変動要因

当期の基準価額は上昇しました。

上昇要因

・タイ株式市場が上昇したこと。

1 万口当たりの費用明細

(2017年12月12日～2018年6月11日)

項目	当期		項目の概要
	金額	比率	
(a) 信託報酬	81円	0.711%	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は、11,364円です。
(投信会社)	(34)	(0.296)	委託した資金の運用の対価
(販売会社)	(46)	(0.404)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、 購入後の情報提供等の対価
(受託会社)	(1)	(0.011)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) その他費用	6	0.055	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保管費用)	(1)	(0.013)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管 および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監査費用)	(2)	(0.017)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(印刷)	(3)	(0.025)	目論見書および運用報告書等の法定開示書類の作成費用等
(その他)	(0)	(0.000)	余資運用に係る費用（マイナス金利相当額）
合計	87	0.766	

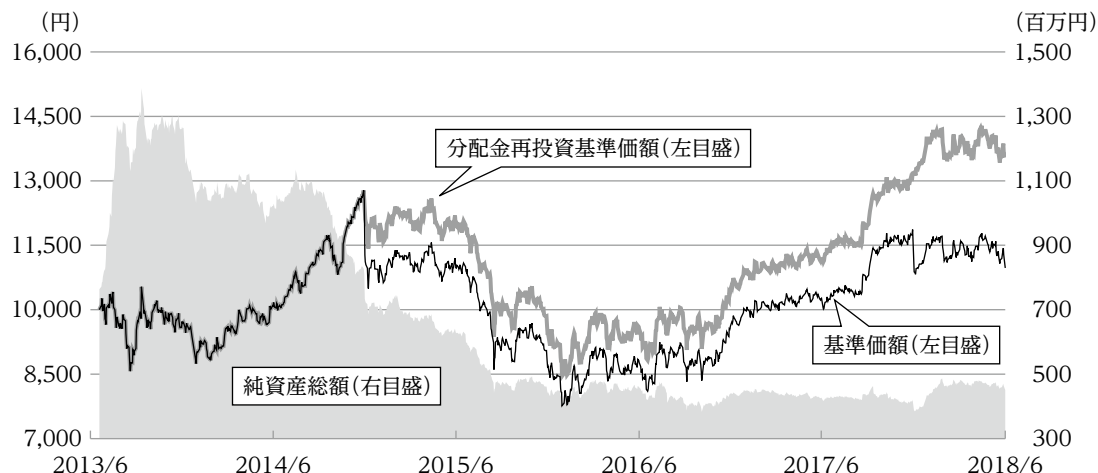
(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(注4) 各項目の費用は、当ファンドが組み入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当たりの費用明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

最近5年間の基準価額等の推移について (2013年6月10日～2018年6月11日)



(注1) 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注2) 分配金を再投資するかどうかについては、お客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様1人ひとりの損益の状況を示すものではありません。

(注3) 分配金再投資基準価額は、設定日の値が基準価額と同一になるように指数化しております。

決算日		2013/6/28 設定日	2014/6/10	2015/6/10	2016/6/10	2017/6/12	2018/6/11
基準価額	(円)	10,000	10,087	10,973	8,773	10,051	10,971
期間分配金合計（税引前）	(円)	—	0	1,000	0	200	1,200
分配金再投資基準価額の騰落率(%)		—	0.9	18.4	-20.0	16.8	21.4
純資産総額	(百万円)	763	1,021	627	458	417	450

(注) 設定日の基準価額は設定時の価額を、設定日の純資産総額は設定元本を記載しております。

* 当ファンドの運用の基本方針に適合した、公表されている指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

タイ株式市場

期初から2018年2月末にかけて、原油価格の上昇を背景に時価総額の大きい資源株が堅調となったことなどから、タイ株式市場は上昇基調で推移し、SET50指数は史上最高値を更新しました。3月から4月にかけては米中貿易摩擦への懸念が強まったことにより、株式市場は上値の重い展開となりました。その後も通貨バーツが下落する中で、外国人投資家を中心に利益確定売りが優勢となり、タイ株式市場は期末にかけて軟調となりましたが、通期では上昇しました。

為替市場

タイバーツは期初から2018年4月中旬にかけて対米ドルで上昇しました。米国の長期金利上昇を受けて新興国からの資金流出懸念が強まる中で、輸出の回復などを背景に経常収支の改善が期待され、タイバーツは相対的に選好される展開となりました。一方、円が対米ドルで上昇したことから、タイバーツは対円では下落しました。

国内債券市場

2018年1月下旬から2月上旬にかけて、米国債利回りの上昇を受け日銀の操作目標0.1%を試す動きがみられましたが、需給の引き締めから日本国債は買い戻され利回りは低下（価格は上昇）しました。その後も黒田日銀総裁の続投が決定し、現行の大規模緩和政策が継続されるとの見方から、利回りは低下傾向となりました。当期の日本国債は狭い値幅で推移し、通期ではほぼ変わらずとなりました。

ポートフォリオについて

当ファンド

主要な投資対象の一つであるイーストスプリング・インベストメンツ - タイランド・エクイティ・ファンド クラスJ（以下「タイランド・エクイティ」といいます。）への投資比率を高位に保つよう運用しました。

タイランド・エクイティ

タイ株式を主要投資対象とし、長期的な成長を目指した運用を行いました。個別銘柄調査とバリュエーションを重視し、市場全体およびセクター内で割安に評価されている銘柄を中心に投資を行い、割高となった銘柄の組入れを減らしました。当期は原油高を背景に

株価が堅調に推移した石油・ガス会社のPTTなどの保有がプラス要因となりました。一方、競争環境の悪化が懸念され下落した銀行のKasikorn Bankなどの保有はマイナス要因となりました。

イーストスプリング国内債券ファンド (国債) 追加型I (適格機関投資家向け)

主としてデュレーションをコントロールすることによって、ベンチマークであるICE BofAML 国債インデックス (1-10年債) を中長期的に上回ることを目指して運用を行いました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドの運用の基本方針に適合した、公表されている指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

分配金について

分配金額は、基準価額水準・市況動向等を勘案して、以下の通りとさせていただきます。なお、留保益の運用につきましては、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行います。

分配原資の内訳（1万口当たり、税引前）

項目	第10期	
	2017年12月12日 ~2018年6月11日	
当期分配金	(円)	200
(対基準価額比率)	(%)	1.790
当期の収益	(円)	152
当期の収益以外	(円)	47
翌期繰越分配対象額	(円)	1,043

(注1)「当期の収益」と「当期の収益以外」は円未満は切捨てて表示しているため、合計が「当期分配金」と一致しない場合があります。

(注2)当期分配金の「対基準価額比率」は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注3)－印は該当がないことを示しています。

今後の運用方針について

当ファンド

主要な投資対象の一つであるタイランド・エクイティへの投資比率を高位に保つことを基本とします。

タイランド・エクイティ

タイ経済は輸出や観光業を中心として堅調な成長が続いています。2018年5月に発表された経済指標では国内需要の拡大を示すものが見られますが、タイにおける家計債務の水準には注意が必要であると考えています。また総選挙の実施時期をはじめとして、タイの民政移管に向けたプロセスは依然として不透明な状況にあり、今後もその動向が注目されます。引き続き景気や政治の動向等に注意しながら、ファンダメンタルズが良好で割安な銘柄への選別投資を行っていく方針です。

イーストスプリング国内債券ファンド (国債) 追加型I (適格機関投資家向け)

今後もファンダメンタルズ分析、金利動向予測、イールドカーブ分析等を行いベンチマークであるICE BofAML 国債インデックス（1-10年債）を中長期的に上回ることを目指した運用を行っていく所存です。欧米国債市場の変動性が高まっていることから、国内だけでなく海外の状況も注視しながら運用を行って参ります。

お知らせ

該当事項はありません。

当ファンドの概要

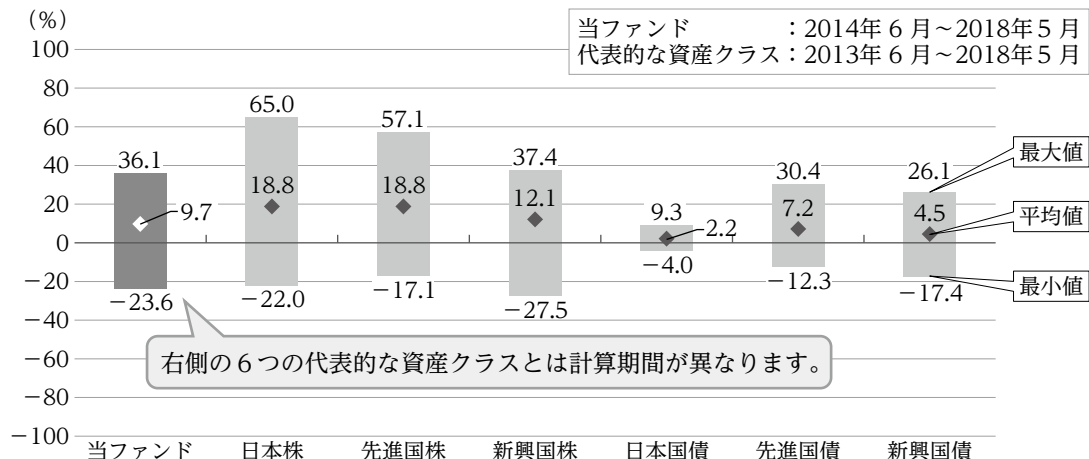
商品分類	追加型投信／海外／株式
信託期間	2013年6月28日から2023年6月12日まで
運用方針	主にタイの企業の株式等を投資対象とする投資信託証券に投資を行い、信託財産の成長を目指して運用を行います。
主要投資対象	外国投資法人「イーストスプリング・インベストメンツ - タイランド・エクイティ・ファンド クラスJ」の投資証券（米ドル建て）およびわが国の証券投資信託「イーストスプリング国内債券ファンド（国債）追加型I（適格機関投資家向け）」の受益証券（振替受益権を含みます。）を主要投資対象とします。
運用方法	以下の投資制限のもと運用を行います。 ・投資信託証券への投資割合には制限を設けません。 ・外貨建資産への投資割合には制限を設けません。 ・株式への直接投資は行いません。
分配方針	毎決算時（毎年6月10日および12月10日。休業日の場合は翌営業日。）に、基準価額水準および市況動向等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合は、分配を行わないことがあります。

指数に関して

当ファンドの投資対象である「イーストスプリング国内債券ファンド（国債）追加型I（適格機関投資家向け）」のベンチマークについて

ICEデータ・サービスおよびその関連会社は、提供するインデックスデータに関してその継続性、正確性、完全性を保証するものではなく、当該データ提供に係り発生し得る損害についてもその事由の如何を問わず責任を負うものではありません。

(参考情報) 代表的な資産クラスとの騰落率の比較



※当ファンドと代表的な資産クラスについて、上記期間の各月末における直近1年間の騰落率の平均・最大・最小を表示し、定量的に比較できるように作成したものです。当ファンドの決算日に対応した数値とは異なります。

※すべての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

※当ファンドの年間騰落率は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したものであり、実際の基準価額に基づいて計算した年間騰落率とは異なる場合があります。

各資産クラスの指数

日本株	東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)	株式会社東京証券取引所の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利・ノウハウおよび東証株価指数 (TOPIX) の商標又は標章に関するすべての権利は株式会社東京証券取引所が有しています。
先進国株	MSCIコクサイ・インデックス (配当込み、円換算ベース)	MSCI Inc.が算出している指数です。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。またMSCI Inc.は、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
新興国株	MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円換算ベース)	
日本国債	NOMURA-BPI国債	野村證券株式会社が公表している指数で、その知的財産権は野村證券株式会社に帰属します。
先進国債	FTSE世界国債インデックス (除く日本、ヘッジなし・円ベース)	FTSE世界国債インデックスは、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。
新興国債	J.P.モルガンGBI-E Mグローバル・ダイバーシファイド (円ベース)	J.P. Morgan Securities LLCが算出、公表しているインデックスであり、著作権、知的財産権はJ.P. Morgan Securities LLCに帰属します。

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円ベースの指数を採用しています。「円換算ベース」は、米ドルベースの指数を当社が円換算したものです。

ファンドデータ

当ファンドの組入資産の内容

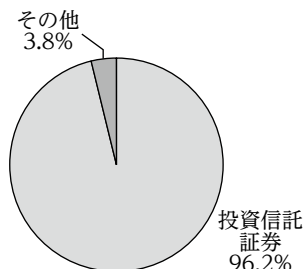
組入ファンド

(組入銘柄数：2 銘柄)

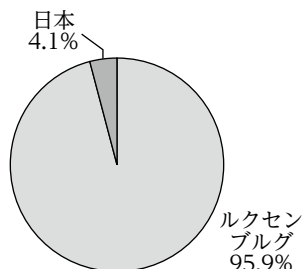
ファンド名	第10期末 2018年6月11日
イーストスプリング・インベストメンツ - タイランド・エクイティ・ファンド クラスJ	95.9%
イーストスプリング国内債券ファンド（国債）追加型 I（適格機関投資家向け）	0.2%

(注)比率は当ファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。

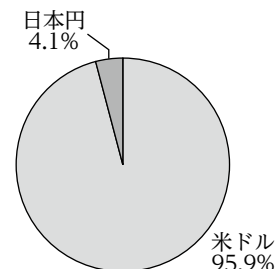
資産別配分



国別配分



通貨別配分



(注)比率は当ファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。

純資産等

項目	第10期末 2018年6月11日
純資産総額 (円)	450,594,687
受益権総口数 (口)	410,723,805
1万口当たり基準価額 (円)	10,971

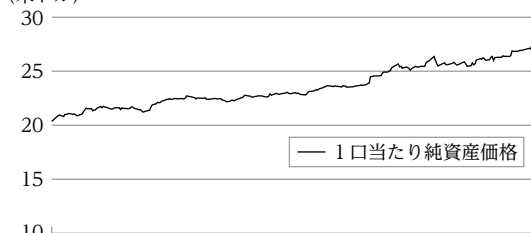
*当期中において追加設定元本額は116,026,927円、一部解約元本額は58,325,670円です。

組入上位ファンドの概要

<イーストスプリング・インベストメンツ - タイランド・エクイティ・ファンド クラスJ>

基準価額(1口当たり純資産価格)の推移

(米ドル)



2016/12/31

2017/12/31

1万口当たりの費用明細

(2017年1月1日～2017年12月31日)

当該期間のAnnual Report (監査済み) には、1万口当たりの費用明細が開示されていないため、記載できません。

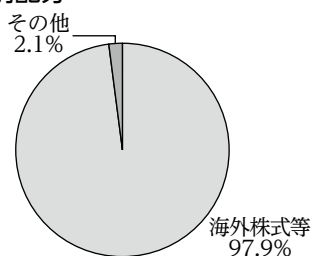
以下は、イーストスプリング・インベストメンツ - タイランド・エクイティ・ファンドの内容です。

組入上位10銘柄(組入銘柄数：49銘柄)

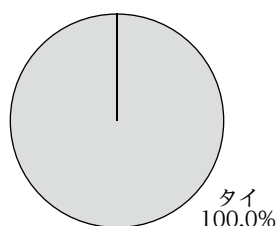
(2017年12月31日現在)

銘柄名	業種	国・地域	比率
PTT PCL (Foreign Market)	エネルギー	タイ	9.9%
Airports of Thailand PCL (Foreign Market)	運輸	タイ	8.3%
CP ALL PCL (Foreign Market)	食品・生活必需品小売り	タイ	5.9%
Siam Commercial Bank PCL/The (Foreign Market)	銀行	タイ	5.3%
Advanced Info Service PCL (Foreign Market)	電気通信サービス	タイ	5.3%
Siam Cement PCL/The NVDR	素材	タイ	4.9%
Kasikornbank PCL (Foreign Market)	銀行	タイ	4.9%
Bangkok Bank PCL (Foreign Market)	銀行	タイ	4.3%
PTT Global Chemical PCL (Foreign Market)	素材	タイ	4.1%
PTT Exploration & Production PCL (Foreign Market)	エネルギー	タイ	3.9%

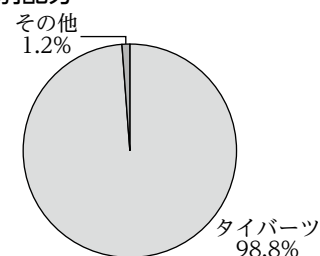
資産別配分



国別配分



通貨別配分



(注1) 組入ファンドのデータは、当社で入手可能な時点のもの(監査済みおよび同時点の関連データを含む)を使用しています。

(注2) 組入上位10銘柄、資産別・通貨別配分の比率は組入ファンドの純資産に対する割合、国別配分の比率は組入銘柄の総額に対する割合です。

* 組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書(全体版)でご覧いただけます。

組入上位ファンドの概要

<イーストスプリング国内債券ファンド（国債）追加型 I（適格機関投資家向け）>

基準価額の推移

(2017年2月28日～2018年2月26日)



1万口当たりの費用明細

(2017年2月28日～2018年2月26日)

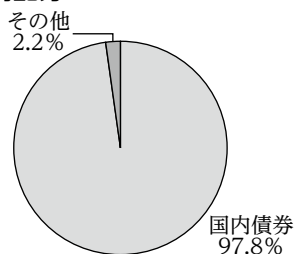
項目	金額	比率
(a) 信託報酬	23円	0.215%
（投信会社）	(15)	(0.140)
（販売会社）	(2)	(0.022)
（受託会社）	(6)	(0.054)
(b) その他費用	1	0.013
（監査費用）	(1)	(0.013)
（その他）	(0)	(0.000)
合計	24	0.228

組入上位10銘柄 (組入銘柄数：20銘柄)

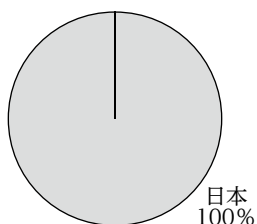
(2018年2月26日現在)

銘柄名	種別	利率	償還日	国・地域	比率
第87回利付国債（20年）	国債	2.2%	2026/3/20	日本	9.0%
第91回利付国債（20年）	国債	2.3%	2026/9/20	日本	8.3%
第63回利付国債（20年）	国債	1.8%	2023/6/20	日本	7.6%
第48回利付国債（20年）	国債	2.5%	2020/12/21	日本	7.5%
第311回利付国債（10年）	国債	0.8%	2020/9/20	日本	7.1%
第67回利付国債（20年）	国債	1.9%	2024/3/20	日本	7.0%
第80回利付国債（20年）	国債	2.1%	2025/6/20	日本	6.1%
第53回利付国債（20年）	国債	2.1%	2021/12/20	日本	6.0%
第47回利付国債（20年）	国債	2.2%	2020/9/21	日本	5.9%
第112回利付国債（5年）	国債	0.4%	2018/6/20	日本	5.6%

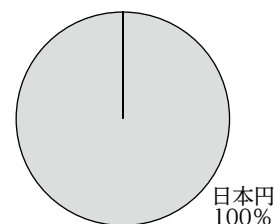
資産別配分



国別配分



通貨別配分



(注1) 1万口当たりの費用明細の項目の概要および注記については、2ページの「1万口当たりの費用明細」の記載をご参照ください。

(注2) 組入上位10銘柄、資産別・通貨別配分の比率は組入ファンドの純資産総額に対する割合、国別配分の比率は組入銘柄の総額に対する割合です。

* 組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）でご覧いただけます。